

Japanese Published Utility Application 6-65095

WHAT IS CLAIMED IS:

A door mirror assembly for a vehicle comprising:

a mirror; and

an attachment for mounting the mirror onto the vehicle,

wherein the mirror and the attachment are connected so that a bottom of the connected mirror and the attachment has a slope descending outwardly relative to a vehicle body and the bottom has a minimum height portion to prevent waterdrops from falling onto a side window of the vehicle.

(19)日本国特許庁(J P)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11)実用新案出願公開番号

実開平6-65095

(43)公開日 平成6年(1994)9月13日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
B 6 0 R 1/06		D 8012-3D		
B 6 0 S 1/56		A		
		Z		

審査請求 未請求 請求項の数1 書面 (全 2 頁)

(21)出願番号 実願平5-15958

(22)出願日 平成5年(1993)2月22日

(71)出願人 593063655

半田 博則

福岡県福岡市城南区片江3-25-31 平野

ハイツ307号

(72)考案者 半田 博則

福岡県福岡市城南区片江3-25-31 平野

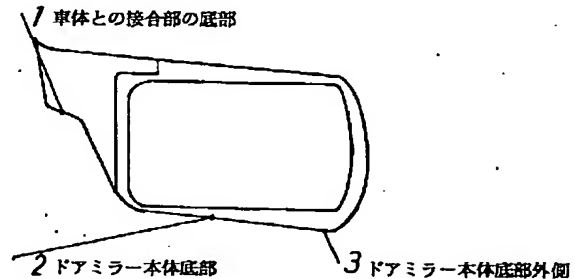
ハイツ307号

(54)【考案の名称】 水垢防止ドアミラー

(57)【要約】

【目的】 車両のドアミラーから、車体や側面窓ガラスに水滴が付着しないようにする。

【構成】 車体との接合部の底部(1)に、車体からドアミラー本体底部外側(3)にむかって下向きの傾斜をつける。同様にドアミラー本体底部(2)にも、車体からドアミラー本体底部外側(3)にむかって下向きの傾斜をつける。底部に傾斜をもつ車体との接合部とドアミラー本体を接合し、この底部の一部をドアミラーの最低部とする。



1

2

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 車体との接合部の底部（1）とドアミラー本体底部（2）にドアミラー本体底部外側（3）へむけ下向きの傾斜をつけ接合し、底部の一部をドアミラーの最低部とする水垢防止ドアミラー。

【図面の簡単な説明】

【図1】 実施例1を示す正面図である。

【図2】 実施例2を示す正面図である。

【図3】 実施例3を示す正面図である。

* 【図4】 実施例4を示す正面図である。

【図5】 従来例を示す正面図である。

【図6】 従来例を示す正面図である。

【符号の説明】

1 車体との接合部の底部

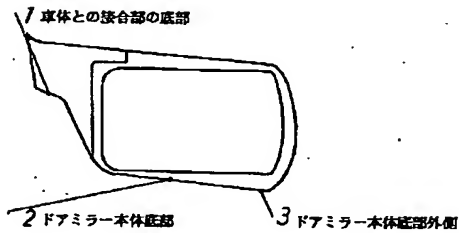
2 ドアミラー本体底部

3 ドアミラー本体底部外側

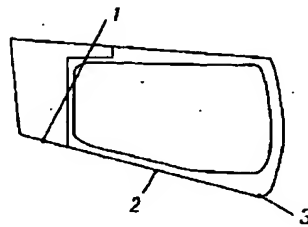
4 ドアミラー本体底部内側

* 5 突起

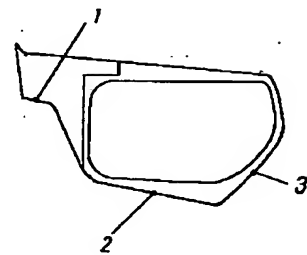
【図1】



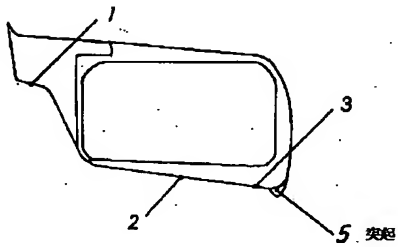
【図2】



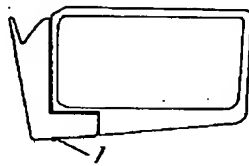
【図3】



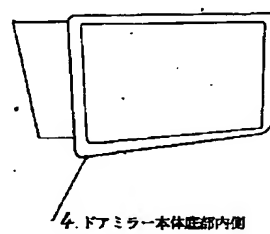
【図4】



【図5】



【図6】



【考案の詳細な説明】**【0001】****【産業上の利用分野】**

この考案は、車体に水垢の付きにくい車両のドアミラーに関するものである。

【0002】**【従来の技術】**

従来の車両のドアミラーは、図5、図6に示すようなものであった。すなわちドアミラーの最低部は、車体との接合部の底部（1）もしくはドアミラー本体底部内側（4）である。

【0003】**【考案が解決しようとする課題】**

この従来のものにおいては、水の流れが車両のドアミラーの最低部である車体との接合部の底部（1）もしくはドアミラー本体底部内側（4）に集中し、落下した水滴が車体に付着し頑固な水垢となり美観を損ね、水垢取りも大変だった。また車両の走行中、ドアミラーより飛散した水滴が側面窓ガラスに付着し視界を妨げるおそれもあった。

本考案が解決しようとする課題は、水滴が車体や側面窓ガラスに簡単に付着しないようにすることである。

【0004】**【課題を解決するための手段】**

ドアミラーからの水滴の落下位置を車体に水滴が付着しない位置、また側面窓ガラスに、飛散した水滴が付着しない位置にかえることである。そこでこの考案に係る車両のドアミラーは、次のようなものである。すなわち、車体との接合部の底部（1）に車体からドアミラー本体底部外側（3）にむかい下向きの傾斜をつける。同様にドアミラー本体底部（2）にドアミラー本体底部外側（3）にむかい下向きの傾斜をつける。底部に傾斜をもつ車体との接合部とドアミラー本体を接合し、この底部の一部をドアミラー全体の最低部とする。

なお、車体との接合部、及び接合部とドアミラー本体の接合、及び本体底部の形状・構造としては、後で紹介する各実施例のようにしてもよいが、そのほかに

も採用できるものがいろいろ考えられることはいうまでもない。

【0005】

【作用】

このような形だから、車体との接合部からの水の流れは接合部の底部（1）からドアミラー本体底部（2）を通り最低部から落下する。またドアミラー本体からの水の流れもドアミラー本体底部（2）を通り最低部から落下する。

【0006】

【実施例】

実施例1

図1は、実施例1を示す正面図である。

車体との接合部の底部（1）に車体からドアミラー本体底部外側（3）方向にむけ下向きの傾斜をつける。同様にドアミラー本体底部（2）にドアミラー本体底部外側（3）方向にむけ下向きの傾斜をつける。この車体との接合部の底部（1）より低い位置にドアミラー本体底部（2）を接合し、本体底部先端を最低部とする。

【0007】

【実施例】

実施例2

図2は、実施例2を示す正面図である。

車体との接合部の底部（1）に車体からドアミラー本体底部外側（3）方向にむけ下向きの傾斜をつける。同様にドアミラー本体底部（2）にドアミラー本体底部外側（3）方向にむけ下向きの傾斜をつける。この車体との接合部の底部（1）と同じ位置にドアミラー本体底部（2）を接合し、本体底部先端を最低部とする。

【0008】

【実施例】

実施例3

図3は、実施例3を示す正面図である。

車体との接合部の底部（1）に車体からドアミラー本体底部外側（3）方向に

むけ下向きの傾斜をつける。同様にドアミラー本体底部（2）にドアミラー本体底部外側（3）方向にむけ下向きの傾斜をつける。この車体との接合部の底部（1）より低い位置にドアミラー本体底部（2）を接合し、本体底部の一部を最低部とする。

【0009】

【実施例】

実施例4

図4は、実施例4を示す正面図である。

車体との接合部の底部（1）に車体からドアミラー本体底部外側（3）方向にむけ下向きの傾斜をつける。同様にドアミラー本体底部（2）にドアミラー本体底部外側（3）方向にむけ下向きの傾斜をつける。この車体との接合部の底部（1）より低い位置にドアミラー本体底部（2）を接合し、本体底部先端に水が落下しやすいように、突起（5）を設け最低部とする。

【0010】

【考案の効果】

この考案に係る水垢防止ドアミラーを使用するとドアミラーからの水滴の落下位置をかえることができ、車体に付着し美観を損ねる頑固な水垢の発生を防止しまたドアミラーより飛散した水滴が側面窓ガラスに付着し視界を妨げるおそれも解消される。